

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所の 研究棟に侵入したサツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科)

Opisthoptatia orientalis (Blattaria, Blattoidea) that invaded in the research building of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University in Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南方系のサツマゴキブリ *Opisthoptatia orientalis* が白浜町で 1999 年以降から記録され、地球温暖化とあいまって近年ますます分布域が広がっている（後藤, 2000; 榎山・久保田, 2002, 2010; 久保田, 2006a, 2006b, 2009, 2010, 2011a, b, 2012a, b, c)。今回、和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所の研究棟に、室内には入り込まないとされている本種の 2 個体が侵入したので記録する。

一例は 2012 年 10 月 22 日 18 時半頃に遭遇した 1 個体である。その時から 1 時間前には姿はなかったが、研究棟 2 階の著者の研究室の実験机の上で、白浜の海水を満たした直径 6 cm で高さ 2 cm のポリスチレン容器で飼育中のベニクラゲのポリプに孵化したばかりのアルテミア幼生を餌として与えている間に、この容器にサツマゴキブリがよじ登り、体を左斜めにして水面に届くような姿勢をとって海水を飲みに来ていた（図 1）。この個体が実際に海水を飲んだかどうかは確かめていないが、少なくとも数分間はそのような体勢をとっていたので、恐らく、塩分補給に来たものと推察される。この個体は標本にせずにそのまま放置しておいたが、その後は出現が見られなくなった。



図 1. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所研究棟 2 階の筆者の部屋でベニクラゲ飼育の海水を飲み出现过したサツマゴキブリ



図 2. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所研究棟 1 階の飼育室の流して死亡していたサツマゴキブリ

もう一例は2012年11月3日18時頃に発見した1個体で、研究棟1階の小飼育室で海水を常時流してベニクラゲを飼育している流しの中で恐らく海水に溺れて死んでいた(図2)。まだ死体は新鮮であったが、柔らかくなっていた。

実験所構内には本種が、昨今、多数頻繁に出現している中(久保田, 2010, 2011b, 2012c), 今回のような研究棟内での相次ぐ記録は初めてである。本種の個体数の増大につれ、また秋になったので気温の低下もあって侵入してきたのであろう。しかし、上記2箇所は室外よりは暖かいので、冬眠に入れないでかえって餌と塩分に窮しているのかもしれない。

引用文献

- 後藤 伸. 2000. 「虫たちの熊野」. pp. 77-81, 初版第1版, 紀伊民報, 田辺市, 和歌山県.
- 桧山 嘉郎・久保田 信. 2002. 和歌山県白浜町産の熱帯系ゴキブリ類 3種(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 南紀生物, 44(2): 153-154.
- 桧山 嘉郎・久保田 信. 2010. 和歌山県白浜町の海岸へ漂着した2個体目のサツマゴキブリ. KINOKUNI, (77): 22.
- 久保田 信. 2006a. 「宝の海から 白浜で出会った生き物たち」. 233pp., 紀伊民報, 田辺市.
- 久保田 信. 2006b. サツマゴキブリ和歌山県白浜町の海岸へ漂着. KINOKUNI, (70): 10-11.
- 久保田 信. 2009. 瀬戸臨海実験所構内に出現した熱帯性ゴキブリ類の第3の種, サツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, 22: 36.
- 久保田 信. 2010. 秋冬季に瀬戸臨海実験所構内に頻繁に出現した熱帯性のサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, 23: 65-66.
- 久保田 信. 2011a. 和歌山県白浜町の白良浜に出現したサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). KINOKUNI, (79): 14.
- 久保田 信. 2011b. 夏から初冬に瀬戸臨海実験所構内に大量出現した熱帯性のサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, 24: 53-56.
- 久保田 信. 2012a. 和歌山県白浜町の海岸へ漂着した3個体目のサツマゴキブリ. KINOKUNI, (81): 9.
- 久保田 信. 2012b. 白浜町番所山へのサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科)の初出現. KINOKUNI, (81): 11.
- 久保田 信. 2012c. 瀬戸臨海実験所構内「研究道路」に2012年に初めて出現した熱帯性のサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, 25: 45.

(くばた しん 〒649-2211和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)